## 法人理念

# 輝いて明日へ

一人ひとりの命を大切にする 人権尊重の理念に基づいた 利用者支援を行い 誰もが豊かに暮らせる 地域社会をつくります

2022. 9. 30

社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会 理事長 田部井 眞

## 災害対応、医療的ケア児者アンケートを実施

今年度の取組として、災害時に医療的ケアが必要な方へ対応した避難所づくりを目指し、アンケートを実施しています。避難した時にどのような備品・消耗品があると良いのか、現在、 医療に関する情報をどのように共有しているのかなどをお聞きしています。結果を踏まえて、

今後の避難所運営で医療的ケアに対する部分を強化していければと考えています。また、個別の避難計画を策定することの必要性も高まってきていますので、今後検討していきたいと思います。

## 町田市社会福祉法人施設等連絡会(法人連)

本年、7月に法人連の代表を引き受けることになりました。法人連には当法人を含めて市内の障がい福祉関係 | 2法人が加盟しています。利用契約者数が |,924 名、職員数が |,588 名を有しています。

隔月での定例会では、各法人の事例から学び合う取り組み、研修の共有化、相談支援部会の活動などを通じて経営の効率化や情報共有の取り組みを行っています。法人連の活動を通じ広く市内の障がい福祉サービスの質の向上につながるように努めていきたいと思います。

#### 電子化、クラウド化、ペーパーレス化

給与明細の配信、年末調整の電子化そして稟議書の電子化を行っています。ペーパーレス化も進み用紙消費量の減、データで扱うことによる効率化など目に見えて業務の効率化が図られています。ほとんどのことがPC上での作業になるとPCの処理速度が気になります。そのため、PC処理の高速化を目指してSSDへの換装を実施しています。事業所によっては職員会議の資料もタブレットで参照する取り組みも行っています。



★SSD(ソリッド・ステート・ドライブ)とは、パソコンやゲームなどのデータを保存する記憶装置のこと。



## 管理者研修を行いました



株式会社 ZAC 人事コンサルタントの新藤さんを講師に、8回にわたる評価者研修を行いました。

「評価」と聞くと「人が人の能力を判断する(優劣をつける)」ことをイメージし、抵抗を感じる方も 多いかと思います。しかし、今回の評価者研修は「評価」のイメージが大きく変わるものでした。 8回にわたる評価者研修では「人が人を育てる技術について」多くのことを学びました。

どんな仕事においても「人から学ぶ」ことは多く、経験年数を重ねるとある時からは人材育成も大切な役割の一つになります。ボワ・すみれ福祉会の役割等級制度でも上級になると『現場のリーダーの役割を果たすこと』が求められ、指導職になると『後輩の指導育成ができること、人が役割を果たせるよう支援すること』が項目に入り、主任になると『複数名の話を踏まえて合意形成をすること』が求められます。つまり、上級職員以上の役割が果たせるようになると、少しずつ下位職員への指導育成が始まるということです。

「指導育成」と簡単にいっても、人とコミュニケーションをとり、知識や技術、考え方を伝えることは それほど簡単なことではなく「苦手、やりたくない」「やり方が分からない」と感じる方も多くいるこ とと思います。

今回の人材育成評価者研修は、そんなコミュニケーション技術、人材育成技術についての学びを深めました。

ここで重要なことは、コミュニケーションや人材育成は、得意不得意ではなく「技術」ということで す。その原理や仕組みを理解し、技術を磨くことで「できるようになる」ものだということです。

今まで行ってきた目標管理についても「目標を管理する」のではなく「目標を共有する」という意識の転換について学びました。

仕事において、なりたい自分(未来の自分)をイメージしながら目標を立て、近づくために努力すること。その目標を上司と共有し、受け止められ、励まされ、背中を押されることで自信をもってチャレンジできることが、自身の成長へとつながります。

評価はその歩みの度合いを確認するためのツールとして活用することが望まれます。

「評価」は人の能力を判断するものではなく、『自分が目標のどの位置にいるか』を確かめるものということです。

研修の中では、職員の頑張りを引き出すための技術について多く学びました。

まだまだ、評価者として駆け出しではありますが、研修で学んだことを活かし、職員が力を発揮し『生き生きと活躍できる職場』、そんな職員が支援をすることで、ご利用、ご家族にとって『安心できる居心地の良い場所』、地域にとって『頼りがいのある事業所・法人』を目指し歩みを進めていきたいと思います。 (児童支援部園長 角井 まな)



## 生活介護花の家





#### 新規入所者紹介 🦠



初秋とは名ばかり。残暑の暑さと共に、花の家に新しく「増田裕介様」が 9月1日に入所されました。増田様は花の家のライフスタイルに魅力を感じ、 今回入所されることになりました。

増田様は体力がとてもあり、園芸品を育てる肥料の素になる土を運ぶ作業 をはじめて行った際は、バケツー杯に土を入れて職員を驚かせてくれました。 花の家での新しい生活に慣れて頂き、増田様が今までにない経験がたくさん できるよう、支援者一同頑張っていきたいと思います。

ちなみに――バケツ一杯の土は歩いて運ぶには重すぎたので、減らしました。



(上吉原 孝太)



#### 夏祭り



段々と涼しくなり秋の訪れを感じられる日が多くなってまいりましたが、今年も8月に花の家の夏祭りを行いました。当日は、マスクの着用や手指消毒など感染予防対策をしっかりと行い、安全に行う事が出来ました。今回も準備から皆様に参加していただき、小道具の制作やホールの飾りつけなどを行っていただきました。当日はお囃子が流れる中、浴衣や甚平などを着て紐くじや金魚すくい、ボウリングなどを行い夏祭りの雰囲気を感じていただき、お土産に駄菓子とヨーヨー、自分で飾り付けたうちわと楽しんでいただけたのではないでしょうか?今回は感染症対策の為グループごとに行いましたが、来年は賑やかに全体で行える事を願っております。 (長澤 和弥)











#### 防災訓練



9月 | 日『防災の日』に花の家全体での大規模な防災訓練を行いました。 避難訓練・起震車体験訓練、給食は非常食を取り入れたメニューや夕方には職員向け の初期消火訓練を行うなど、防災を意識する | 日となりました。

避難訓練は毎年の訓練の成果が得られていて、防災頭巾やヘルメットを着用し、落ち着いて速やかに指定された場所へ向かうことが出来ました。防災への意識や訓練の 積み重ねがいざという時に迅速な初動対応をとれるようになると実感しました。

午後は最大震度7の体験が出来る『ぐらり号(起震車)』が花の家にやってきました。この体験は大きな地震が発生した時に慌てず正しい行動が取れる為の訓練です。 事前に乗車する方を募っていたのですが、嬉しいことに飛び入りで参加を希望されるご利用者が多数いらっしゃいました。震度体験の感想を聞くと、「怖かった」、「前の地震を思い出した」、「訓練の大切さ」などご利用者の様々な思いを聞くことが出来ました。改めて日頃から防災知識を身につけ、備えの大切さを考えさせられました。

(森田 夕利子)





## 就労継続支援B型 クッカ広場



思うように地域の皆様にクッカ広場の宣伝が出来なくなり2年が過ぎました。

安心、安全にお店の営業をするにはどうしたら良いか?コロナの波に右往左往しながら考え を巡らせながら対応してきた2年間でした。

そんな中でも地域の皆様はクッカ広場に足を運んでくださいます。コロナ対策でご不便を強いることも多々ある中、クッカ広場をご利用いただいているお客様には感謝一杯です。

この感謝をお客様に伝えるにはどうしたらいいだろう?色々考えました。

そこで開催したのが「衣類半額セール」や「ズボン・スカート 10 円セール」などなどクッカ広場の気まぐれ企画です。気まぐれなので当日の朝に「やろうか」と決まることもあるこの企画、お客様に好評をいただくことができました。

まだまだ、「いい事思いついた!」の気まぐれでクッカ広場に来れば楽しいことがあるかもそんなお店作りをこれからも続けていきます。 (大髙 星子)









## 一クッカカフェからのお知らせー





クッカカフェはコロナ禍の休業を続ける中で再開の検討をしてきましたが原材料の高騰などから営業を当面の間中止することとなりました。また、自家焙煎珈琲の販売も在庫がなくなり次第終了することとなります。

カフェや自家焙煎珈琲を楽しみに来ていただいていたお客様には残念なお知らせになってしまい申し訳ない限りです。今までご愛顧いただきありがとうございました。















## 生活介護花の郷



花の郷では今年度も、月に一度デリバリーランチの日を設け、お弁当を注文したりご利用者と一緒に調理活動をしたりして、給食とは一味違ったランチを楽しんでいただいています。

Ⅰ階 E グループ、 F グループでは毎月調理活動をしています。

季節に合ったメニューや、ご利用者と一緒に出来る工程を考えながらメニューを決めています。

7月には冷やし中華、8月はお祭りをイメージした焼きそば、焼トウモロコシ、チョコバナナを作りました。

また調理工程でも楽しめるようハンバーグを潰して作るボロネーゼパスタや、ひき肉を揉んでたねを作ったコーンしゅうまいなど、手で直接感触を楽しんでもらえるような工夫をしています。

自分たちで作ったランチの味はまた格別で、皆さん毎回とても喜んで召し上がっています。 時にはおかわりされる方も!(^^)!

今後もご利用者が楽しんでお食事できるよう、工夫しながら調理活動を続けていきたいと思います。 (増田 あい)



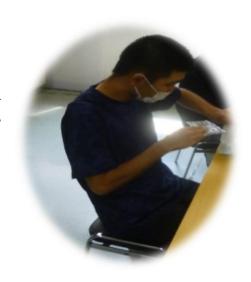


## ボワ・アルモニーの作業風景

ボワ・アルモニーでは、授産作業としてダイレクトメールの封入作業を行っています。 紙封筒やポリプロピレン袋状の封筒等に、形や大きさの異なる資材を封入し、それを封 緘、最後に宛名シールを貼って納品します。

## 封入作業

ご利用者全員に行っていただいている作業です。I点のみ封入ができるご利用者から5点同時に封入できるご利用者もいらっしゃいます。多点封入できるご利用者が多いので、発注業者様より、多くのお仕事を頂いております。





## 封緘作業

特定のご利用者が行っています。曲がらない様にテープや糊で封緘しなければならないため技術が必要です。 とても速く、丁寧に封緘してくださっています。

## 宛名シール貼り作業

宛名シール貼り作業ではシールをシートから剥がす人と剥がしたシールを封筒に貼る人がペアになって行っています。こちらも特定のご利用者が行なう作業です。速いご利用者はシールを片手で貼り、1時間に1000枚以上貼れます。



折り作業、挟み込み作業など案件によって行なう作業が異なりますが、ご 利用者は日々、新たな挑戦を含め一生懸命取り組んで頂いております。

(おります。 (木村 一太)



(宇野

# ポワ・コンサール

遊びを楽しみました。 はとても暑い日が多かったですが、 ボ 入るとひんやりと気持ち良く、 ワ・コンサールでは夏休み中、ブルー 摘みや水遊びに出掛けました。 全身で水 水に 今年

たり、 味しそうにたくさん食べていました。 けました。木陰で涼みつつ、パック一杯に がら作りました。 なるまで摘み取りをたのしみました。 いただき、ブルーベリー摘み体験に出掛 ーを作りました。包丁で材料をカットし クッキングの活動では、みんなでカレ 夏休み前半には、ダリア園のご協力を 鍋で炒めるのもみんなで協力しな どの児童もカレーを美

を

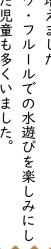
# ポワ・フルー

びや夏祭り、 ムに行ったりなど、 が増えました。 今年のボワ・フルールでの夏休みは水遊 おやつの買い物、 昨年よりも少し活動 アクアリウ の

て いた児童も多くいました。 ボワ・フルールでの水遊びを楽しみにし

頑張って狙って投げていました。 びました。 じり鉢巻きをして気分は夏祭りでした! お店のセッティング、法被に袖を通し、 ど思い思いに水遊びを楽しみました。 土産のお菓子がもらえるとあって、 浸かって気持ち良さそうにしている子な しました。子ども達に手伝ってもらい、 輪投げはボウリングのピンを的にして遊 夏祭りでは輪投げ屋さんなど出店ごっこ 水鉄砲や水風船を使って遊ぶ子やプー ピンに書かれた数字の数だけお みんな ね ル

顔がたくさん見られるような楽しい活動を した。 していきたいと思います。 夏休みは子ども達の笑顔が多く見られ 新学期も引き続き、子どもたちの笑 (渡邉 千春 ŧ





た! どれも色とりどりでキレイに仕上がりまし ました。 文字や絵を描いたり、 絵付け体験をしました。 たくさんの行事をおこないました。7月に は花の家の陶芸部門にご協力をいただいて ング、夏祭りにお買い物など、週替わりで 今年の夏休みは初めから水遊びにクッ 出来上がった作品は焼き上がると タンポで模様をつけ お皿に思い思いの

た。 盛りに行う水遊びは毎年好評です。水鉄砲、 びしょぬれになりながら夏を満喫しまし げながら遊び、 水風船などを使って勢いよく水しぶきをあ 用のプールを出して行いました。夏の暑い 水遊びは 花の家の敷地内にタープと家庭 時には職員も児童と一緒に

2学期からも楽しんで行きましょう! を感じるようになりました。 朝晩は涼しい日もあり、 段々と秋の気 夏休み明け o) 配







## 居住支援 グループホーム



## お楽しみメニュー



居住支援部では、食事について、献立付きの食材宅配業者を利用しています。配達された食材を、レシピに従って調理することで、栄養バランスの取れた料理をご利用者に提供することができています。 そんな居住支援部の食事事情ですが、メニューには通常の献立とは別に、豪華だったり季節を感じられたりする「お楽しみメニュー」というものが存在します。

毎月4種類用意されていて、誕生日など、特別な日に注文するためのメニューです。ご利用者の誕生日はもちろん、その他にも月に I 、2回提供しています。豪華な分、調理には手間がかかりますが、ご利用者は、毎回お楽しみメニューの日を心待ちにされているので、満足し、喜んでいただけるよう、職員は心を込めて作っています。 (髙松 武男)









## 機ボワ·すみれ福祉会後援会



## 会員を募集しております

今年度は、新たな後援会のあり方について考える『ありかた委員会』を立ち上げ動き出しました。 8月にはお手元にアンケートを配布させていただき、皆様にはお忙しい中、回答にご協力頂きありが とうございました。ただ今、集計作業を進めております。

## 令和4年度の寄付金交付事業

本年度も法人への寄付金交付事業を継続致します。 内容につきましては、法人と検討中です。

今後も皆様からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



#### 編集後記

朝晩は過ごしやすい気候になってきましたが、I 日の気温差が大きくなる日もあり、体調を崩しがちな季節・・・(;^ω^)秋の味覚を楽しみながら、食事や睡眠をしっかりとり、元気に過ごしましょう! (松浦綾子)

Bowa Sumîre

発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会 理事長 田部井 眞 東京都町田市下小山田町 3267-2

TEL: 042-797-6004(代) / FAX: 042-797-4824 E-mail: hananoie@mvb.biglobe.ne.jp

https://bowasumire.jp/



8